

# マニュアルの読み替えのお願い

本書は『製品ガイド』の読み替えについて記載しています。次の製造番号の製品が対象です。

| 品名          | 製造年     | 製造番号 (SERIAL) | 搭載 OS                                        |
|-------------|---------|---------------|----------------------------------------------|
| FUTRO MA576 | 2019    | R9700667 以降 注 | Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSB (64ビット版) |
|             | 2020 以降 | R0100001 以降   |                                              |

注：上記の製造番号以前でも、対象となる製品があります。  
対象となる製品には、『書込保護機能のご購入時の状態について』の紙が同梱されています。

## ■ 製造年／製造番号の確認

お使いの機種の製造年／製造番号について、次の方法でご確認ください。

- ・ 製造年：製品本体に貼付されている、製造番号が記載されたラベルに「20XX-XX」（年-月）の形式で記載しています。
- ・ 製造番号：添付の保証書および製品本体に貼付されているラベルに記載しています。

## ■ 変更点について

- 本製品は、ご購入時の内蔵フラッシュメモリの書込保護機能を「無効」に設定しています。  
『製品ガイド』の「第1章 本製品の特長」で、ご購入時の内蔵フラッシュメモリの書込保護機能を「有効」に設定していると記載している部分については、「無効」と読み替えてください。
- 「1.2.1 管理者アカウントとパスワード設定」の「重要」は、次のように読み替えてください。

### 重要

- ▶ 内蔵フラッシュメモリへの書き込みは、保護機能が無効の状態で行います。  
管理者アカウントのパスワードの設定は、保護機能が有効の状態で行うと、再起動後は設定が消去され設定前の状態に戻ってしまいます。「1.4.3 内蔵フラッシュメモリへの書き込み制御」をご覧ください、保護機能の状態を確認してから行ってください。
- 各種設定を行った後は、書込保護機能を「有効」に設定することを強くお勧めします。

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。